

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4274
22年8月12日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

おはようございます。

2022長崎平和行動

今夏の平和行動は、新型コロナウイルス感染症拡大で「ピースサイクル」「8・8長崎集会」共に3年連続中止となりましたが、その他の行動は例年通り行われました。支部が参加した77回目の長崎原爆忌平和行動を報告します。

被爆77周年原水爆禁止世界大会長崎大会

開会総会

8月7日にブリックホールで行われた開会総会には、海外からの参加者も含め800人の参加がありました。また若い世代の参加も目立ちました。特に近年はノーベル平和賞にもノミネートされるほど活動が広がっている「高校生平和大使」、そし

て平和大使の活動から生まれた「高校生1万人署名活動実行委員会」のメンバーも全国から多く参加されました。



海外から参加されたゲストのスピーチ、「被爆体験者」訴訟の報告などが行われたプログラムの中でも、高校生平和アクション2020として、全国18都道府県と海外の高校生高校生120人が参加するメッセージ動画「ピースブックリレー」が紹介されました。また高校生活動報告では核兵器禁止条約の発効から1年になる今年1月に公開された「ピースソングリレー」動画が紹介されました。この動画はコロナ感染で従来の活動

が制限される中で新たな形を模索し、撮影から編集まですべて高校生が行ったという事でした。ピースソングリレーとピースブックリレーは、いずれも長崎市公式チャンネルなどで見られます。ぜひご覧ください。

分科会

8月8日は各会場で6分科会があり、「平和と核廃絶Ⅱ」―核兵器廃絶と東北アジア情勢のテーマで開かれた分科会に支部からも出席しました。

6月にウイーンで開かれた核兵器禁止条約第1回締約国会議に被爆者や多くの市民団体が参加する中、日本政府はオプザーバー参加も否定している。ロシアのウクライナ侵攻で日本からも核共有論が出てきているが、核兵器は戦争を防ぐどころか核武装国による戦争開始を後押ししている現実がある。と指摘がありました。

閉会総会
8月9日の「被爆77周年原水爆禁止世界大会」閉会総会は、約850名が参加して行われました。

山下和英実行委員長は「昨年、一昨年と通常開催が出来なかったが、今年是对面での通常開催に踏み切った。分科会などに若い世代が熱心に参加する姿も見られ運動の継承にも期待が持てた」と述べました。



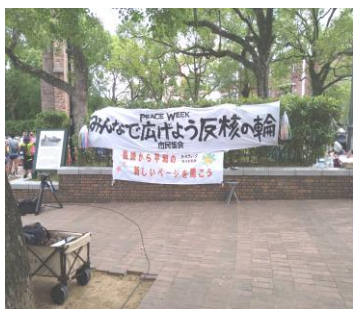
ウイーン派遣第24代高校生平和大使のスピーチや鹿児島県の馬毛島の軍事基地化の特別報告があり、最後はナガサキアピールが採択され閉会となりました。その後は爆心地公園まで非核平和を訴えながら行進を行いました。

8月9日の行動
7時30分から爆心地公園にある慰霊碑で行われた「朝鮮人犠牲者追悼集会」に参加。献花を行い、長崎で亡くなった朝鮮人の方々を追悼しました。



その後、8時50分から原爆資料館にて、全国から寄せられた長崎市長宛てピースメッセージを館長へ手渡し、意見交換を行いました。

10時からは、爆心地公園で開催されたピースウイーク市民集会に参加。原爆投下時刻の11時2分に黙祷を行いこの日の行動を終了しました。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員希望者全員が正社員化を。

ゆげが、均等待遇、なげんが差別。

ユニオンは労基法裁判に勝利する。

